

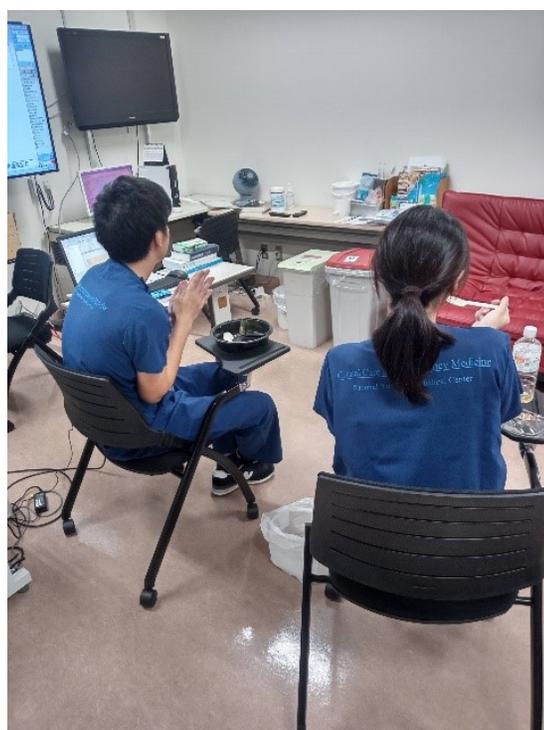
9月になっても暑さと高湿度は変わりませんが、朝晩は少しばかり涼しくなってきたように感じます。夜は虫の音もよく聞こえるようになりました。

さて、9月は研修の折り返しで、6か月目に入りました。先生ごとに研修科のローテーションが異なるため、経験にも違いがありますが、それぞれに自信がついてきた印象があります。2年目の先生たちは進路を決めた人が多く、目的を持って研修に臨んでいるように感じます。

専攻医として残っている新米スタッフドクターも、肩で風切って、ずいぶんと自信に満ちあふれた風に各自の専門分野で頑張っています。

しかし、経食道エコーが難しかったり、上部内視鏡で異物を取り除けなかったり、上級医と交代になることもあります。まあ、経食道エコーは私自身が苦手な麻酔科医なので、救急医としてはそれほど気にしなくてもいいと思います。そのうち上手になりますよ。

少し気になるのは、これは各自の特性によるものかもしれませんが、指示を待ちがちな先生と、積極的に質問したり、手を出したりする先生とで濃淡があります。私は救急診療でしか研修医の先生と接点がないので、視点が偏っているかもしれません。それでも、できることはまずやってみる姿勢を持って欲しいと思います。



いえ、きっと、例えば内視鏡検査の際にはもっと積極的に取り組んでいるでしょうし、手術の際には特に熱心だと思います。診断のつかない症状についても論文を読み込んでいるかもしれません。私が見ていない部分で努力していることを期待しています。

ココイチのカレー、美味しかったですか？遅くまでご苦労様でした。